



くまもとアートポリス
kumamoto artpolis

熊本県

kap

2010年度 第16回
くまもとアートポリス推進賞

KUMAMOTO ARTPOLIS

第16回くまもとアートポリス推進賞の選考を終えて

選考委員長 北野 隆

「くまもとアートポリス推進賞」は、「くまもとアートポリス」事業の一環として、質の高い優れた建造物を顕彰することにより、県民の環境デザインに対する意識の高揚と都市環境並びに建築文化等の向上・併せて豊かな地域づくりを図ることを目的に、1995年より行なわれている事業です。2010年度・第16回目の事業が実施されました。

今年度の「くまもとアートポリス推進賞」事業には、総数51点の応募作品がありました。応募作品の用途は専用住宅・共同住宅・宿泊施設・病院・保育所・学校など、構造は鉄筋コンクリート造・鉄骨造・木造など、規模も大小さまざまでした。

第1次選考の書類審査は、選考委員(7名)が各自の持点10点をA(3点)・B(2点)・C(1点)の3段階に分けて評価しました。各選考委員の評価を集計しますと、作品は分散した結果になり、点数の上位から下位の全作品について討議し、各選考委員の意見も加味しながら、第2次選考の現地審査作品・10作品が選出されました。

現地審査では、設計者へ建築のコンセプトや構造など、事業主には建築の使い方などについて質疑応答がなされました。現地審査では、第1次の書類審査(設計図)では把握できない周辺環境との関係、建築空間の取扱い、素材の感触などが体験できました。

最終的には「推進賞」として「道と暮らす家」・「天草文化交流館」の2作品、「推進賞選賞」として「C-HOUSE」・「芦北町立佐敷小学校」・「百年遺伝子の門」・「T-house in 高森」の4作品が選ばれました。

これら6作品については、選考委員の先生方が詳細な講評を述べられていますから、ご覧下さい。

また、これら6作品について、私なりにそのデザイン手法を分類すると次のようになるように思われます。

○設計者は、はっきりしたデザイン・ポリシーを持ち、そのデザインを追求した作品

「道と暮らす家」、「C-HOUSE」、

「T-house in 高森」

○歴史的建築にこだわりながら、地域づくりに寄与している作品

「天草文化交流館」、「百年遺伝子の門」

○建築素材を生かしながら、周辺の環境と融合させた作品

「芦北町立佐敷小学校」

今年度の「くまもとアートポリス推進賞」の応募作品は、51点にもなり、昨年の31点に比べ大幅に増えました。「くまもとアートポリス推進賞」が県内の建築関係者に浸透したことが伺えます。

これらの作品から「推進賞」2点、「推進賞選賞」4点が選ばれました。建築的な特徴は、伝統的建築の修復した作品や現代的作品などいろいろでした。また、設計者も県内だけでなく東京都に及ぶなど、「くまもとアートポリス推進賞」事業の成果が着実に浸透していることが感じられました。

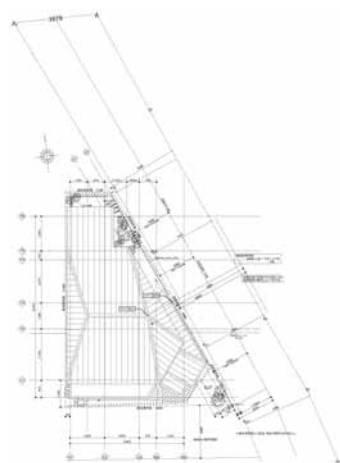




「道と暮らす家」



事業主 ■ 後藤謙蔵
 設計者 ■ 株式会社後藤横浜事務所
 施工者 ■ 中山工業
 所在地 ■ 熊本市黒髪
 竣工年月 ■ 平成19年3月
 用途 ■ 専用住宅
 構造 ■ W造
 階数 ■ 地上2階
 敷地面積 ■ 64.19㎡
 建築面積 ■ 38.35㎡
 延床面積 ■ 68.85㎡



配置図



1階平面図



2階平面図

どこにでもありそうで、ない家。

ひとつの建築作品としてみると、この家は不思議で断片的な部分だらけに感じる。でも家に対するビジョン、ここにこの家を作ることによって何が出来るのかという問いかけには真っ直ぐに答えている。来訪者にとっては行きつけの店や遊び場のような街の居場所、住まい手にとっては行きかう人と交わり街の気配とともに暮らす場所。地域への信頼と、そのなかで育んだ住まい手の存在感が同時に感じられた。

幹線道路から入りこんだ幅の狭い道沿いに建つこの住宅は、息子が設計した一人暮らしの母の家である。昔の風貌を残す小振りな家並みやブロック塀からはみ出た緑が道に滲み出すようなロケーションのなか、木のスクリーンが道路境界ぎりぎりに建つ家をくると囲んでいる。

玄関を入ると、不整形な畳敷きのリビングに三段ほどレベル差のついた畳敷きの場が続き、自然とキッチンカウンターと向かい合っ腰を下ろすよう身体が動く。視線の高さを合わせたり収納を設けるなど、あえて各所で段差をつくっているが、十段以上の階段を避けたステップアップ式の構成は、単なる空間演出でなく住まい手の身体能力に沿って計画されている。

(高橋 晶子)

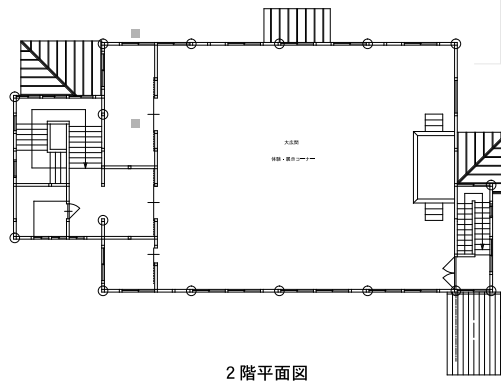
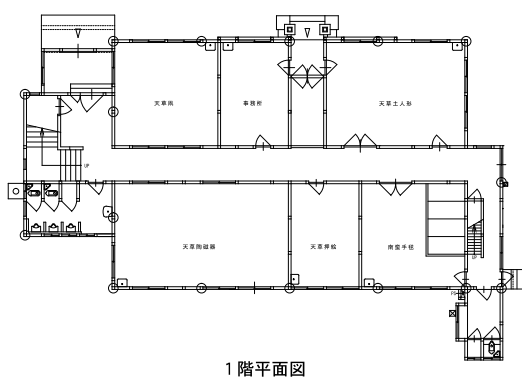
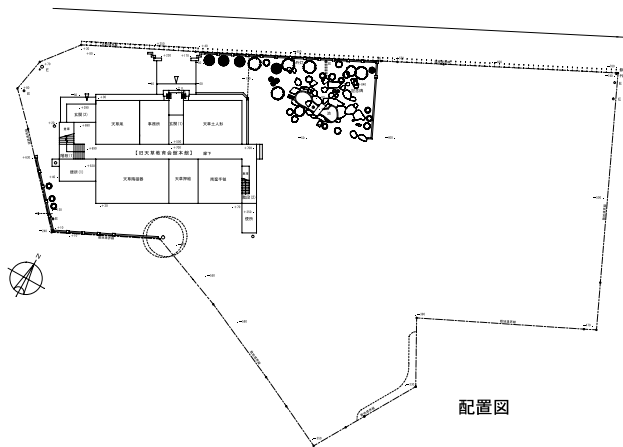




「天草文化交流館」



事業主 ■ 天草市
 設計者 ■ 田中設計事務所
 施工者 ■ 有限会社鶴田建設
 所在地 ■ 天草市船之尾町
 竣工年月 ■ 平成19年12月
 用途 ■ 体験学習館
 構造 ■ W造
 階数 ■ 地上2階
 敷地面積 ■ 2,314.18㎡
 建築面積 ■ 294.23㎡
 延床面積 ■ 564.75㎡



今回改修された天草文化交流館は、元々昭和10年3月に建築された洋風の天草教育会館であった。天草教育会館の建設費は、天草の先生方800名が約2年半に渡って毎月の給料から徴収されたものが主になった。設計・施工もすべて天草の人達が行い、当時の最先端の技術が採用された洋風建築であった。私も先年、この天草教育会館を調査したが、文化的価値も高く、現在は国登録有形文化財に指定されている。

今回老朽化した天草教育会館を改修して、新しく天草文化交流館として生まれかわった。国登録有形文化財に指定されている天草教育会館を出来るだけ変えないで形で改修が行われている。ただし、天草文化交流館は木造2階建てだからだが、2階床が強度不足で今回鉄骨で補強されている。この補強をうまく利用してバットレスとして外観デザインに利用し、何の違和感もない。

天草文化交流館の位置するこの地域は、すぐ近くに町山口川に架かる県指定重要文化財の石造桁橋もあり、文化ゾーンとして貢献するものと思われる。

(北野 隆)





「C-HOUSE」

 kumamoto artpolis

事業主 ■ 相良常氏
 設計者 ■ 長野聖二・人間建築探検處
 施工者 ■ 有限会社ウエダホーム
 所在地 ■ 熊本市薄場
 竣工年月 ■ 平成21年12月
 用途 ■ 専用住宅
 構造 ■ W造
 階数 ■ 地上2階
 敷地面積 ■ 220.86㎡
 建築面積 ■ 74.74㎡
 延床面積 ■ 125.81㎡

家型のなかに3つの坪庭をつくって、庭の中にあるような室内を設計しようというのは、可能性のある目標。というだけでなく、その目標が、手際よく、清潔に、また無理なく達成されているのが、とても好ましかった。

ドアを開けて玄関に入った、と思ったら、そこが内部空間ではなく、アプローチの第一の坪庭になっているのには、思いがけないプレゼントをもらったような楽しさがあるし、また空間にうまい間合いをもたらしている。土間に入れば、さらに第二の坪庭が現れて、豪華なこときわまりない。居間は、第一の坪庭と奥の第三の坪庭に挟まれていて、のびやかな感じがある。第三の中庭は、お風呂から見える庭にもなっていて、二重に楽しめる。第二の坪庭も二重の楽しみがあって、土間にとっての坪庭であると同時に、キッチンにとっての庭になっている。プランニングには、コンパクトに、でも窮屈でなく、至るところに設計の妙がある。

居間の外壁に面しての窓の位置を目線より上に上げたら空だけが見え、もっと伸び伸びとした感じになったのではないか、あるいは、周辺環境も必ずしも「参照すべき景観はなかった」とは思えない、という意見もあったけれど、どこでも流通できる借り物のデザインを移植するのではなく、建つ場所の風景を丁寧に読み解き、そこからひとつの建築を紡ぎ出そうとする真摯な姿勢は高く評価できる。

個人的には、居間の南側を黒色にして、北側をそれよりは明るいうらワンベニアにしたことで、部屋を満たす光が、落ち着いたものになっていることがすばらしいと思った。

(青木 淳)



配置図兼1階平面図



2階平面図

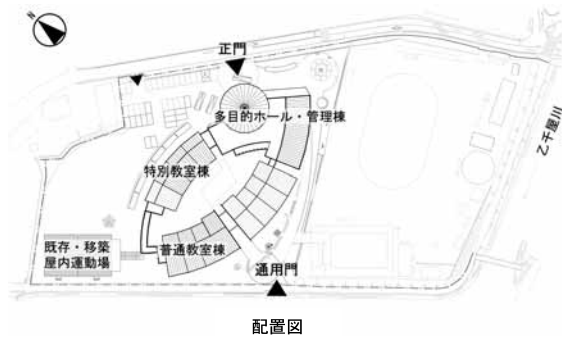




「芦北町立佐敷小学校」

 kumamoto artpolis

事業主 ■ 芦北町
 設計者 ■ 株式会社楠山設計九州支社
 施工者 ■ 東洋・日動建設共同企業体
 所在地 ■ 葦北郡芦北町
 竣工年月 ■ 平成18年12月
 用途 ■ 小学校
 構造 ■ W+RC造
 階数 ■ 地上2階
 敷地面積 ■ 18,961.14㎡
 建築面積 ■ 3,566.55㎡
 延床面積 ■ 5,242.09㎡



芦北の観光船「うたせ船」。そのゆったりとした佇まいはなんとも美しく、芦北の魅力ある伝統文化である。そのイメージを小学校校舎全体の弓形の形としてシンボライズし、地元の森林資材を使用。木造建築の校舎である。小学校という学び舎に芦北の風土を意識させた試みは、子供達の郷土を想う豊かな心を育む事と評価したい。

建物の構成は、教室棟、一角に配置された多目的ホール・管理棟となっている。教室棟は、柱材となる丸太の他、床壁天井、建具、サインなど、ほとんどに木材を使用。大きな丸太が印象的な、まさに木に包まれた空間。

その木造建築には、計画段階から熊本県林業研究指導所の協力、地元の木材技術情報の交換・強度試験など、地元材の特性を研究できた点も大きな成果だったと聞く。

現地審査で訪れた日、子供達がその中で学んでいる姿にもふれる事が出来た。廊下ですれ違うと「こんにちは！」と皆大きな声で挨拶してくれ、こちらも明るい気持ちになれた。こうして子供達はこの校舎の中で季節を巡りながら、木のぬくもり、冷たさ、おだやかさ、ここちよさを肌でかんじながら過ごしていくのだろう。

ただ、創意工夫の点で、現場の使用目的のアイテムを探り出す工夫が必要だったのではないかと感じた箇所があった。玄関壁面、教室棟に関しては、掲示物を効果的に見せる壁面の工夫、廊下手洗い横の棚の工夫、準備室内棚収納の工夫など。物がはみ出し雑然と見えてしまい残念なかんじがする。木のダイナミックな量感と繊細なデザイン工夫とでもっと魅力ある空間となったのではないだろうか。

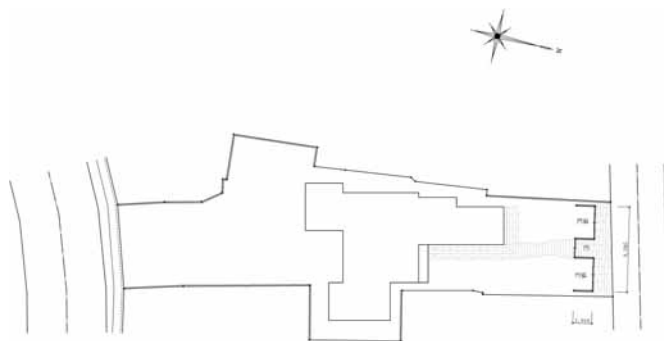
(大野 郁子)



「百年遺伝子の門」

kumamoto artpolis

事業主 ■ 野満信男
 設計者 ■ 株式会社福山空間建設研究所
 施工者 ■ 株式会社福山空間建設研究所
 所在地 ■ 山鹿市山鹿
 竣工年月 ■ 平成21年11月
 用途 ■ 門
 構造 ■ W造
 階数 ■ 地上1階
 敷地面積 ■ 586.33㎡
 建築面積 ■ 16.41㎡



配置図

建物をつくることは、使用財としての目的を満たすことと同時に、その建物がなぜ建てられることになったのかという過去に属することと、これからどうして行くつもりなのかという未来に属することを、一緒に納められる枠組みを探し、空間として示すことではないだろうか。百年遺伝子の門を、その一つの好例として見てみたい。

山鹿宿豊前街道沿いの古い町家の建て替えであるこの計画は、結果的には母屋を敷地奥にセットバックさせ、町家の根幹とも言える、壁面線を通りに沿わせることを断念するところからが始まりである。元のように町家の構えを作ることができないならば、これ以上町家的なるものの継承にこだわるのは潔くやめにしてしまいそうなものだが、この作品はそこであきらめずに、一度つまずいたところからどう立ち上がるかを作品にすることを試みている。それが結果的に、独立した町家の構えのような、門構えのような、今まで確立されてこなかった形式を生むことになった。それでなんとか、町家の系譜にこの現代の住宅をつなぐことに成功している。つなぐことをなによりも優先したその無私の心が素晴らしい。しかしものづくりの観点や計画の観点からは若干の物足りなさが残った。

(塚本 由晴)

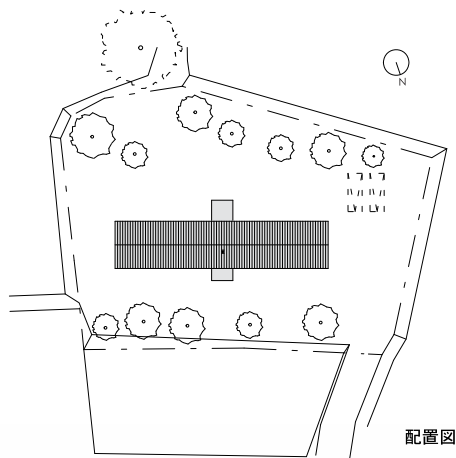




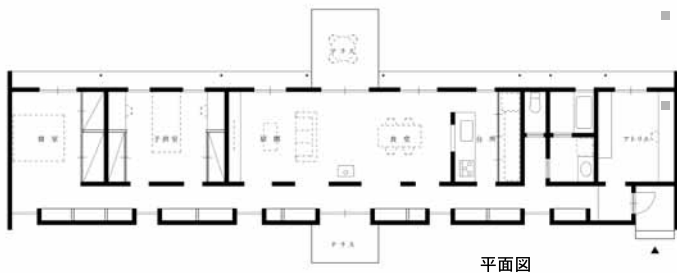
「T-house in高森」

 kumamoto artpolis

事業主 ■ 豊田健次郎
 設計者 ■ 西山英夫建築環境研究所
 施工者 ■ 有限会社ウエダホーム
 所在地 ■ 阿蘇郡高森町
 竣工年月 ■ 平成22年3月
 用途 ■ 専用住宅
 構造 ■ W造
 階数 ■ 地上1階
 敷地面積 ■ 1,118.58㎡
 建築面積 ■ 123.26㎡
 延床面積 ■ 118.40㎡



配置図



平面図

出迎えてくれたのは、阿蘇特有の身を切るような寒さ。根子岳や外輪の山々を取り囲む絶好のロケーションの中、「ずうん」と体の芯が凍えるような冷え込みに思わず背を丸めたが、家の中は暖かく、雰囲気も温かかった。

玄関を入ると、いきなりアトリエが。施主の仕事であるフライフィッシングの釣りざお作りのためのスペースだ。竹を削り、精巧に仕上げられた釣りざおが置かれている。

平屋で細長い室内は、絶妙に配置された開口部のおかげで明るく、開放感にあふれている。最奥の子ども部屋や寝室は仕切ることできるが、家全体が一つの部屋のような感覚だ。シンプルな作りながら伸びやかさが感じられ、素直で暮らしやすそうなたたずまいに好感が持てた。

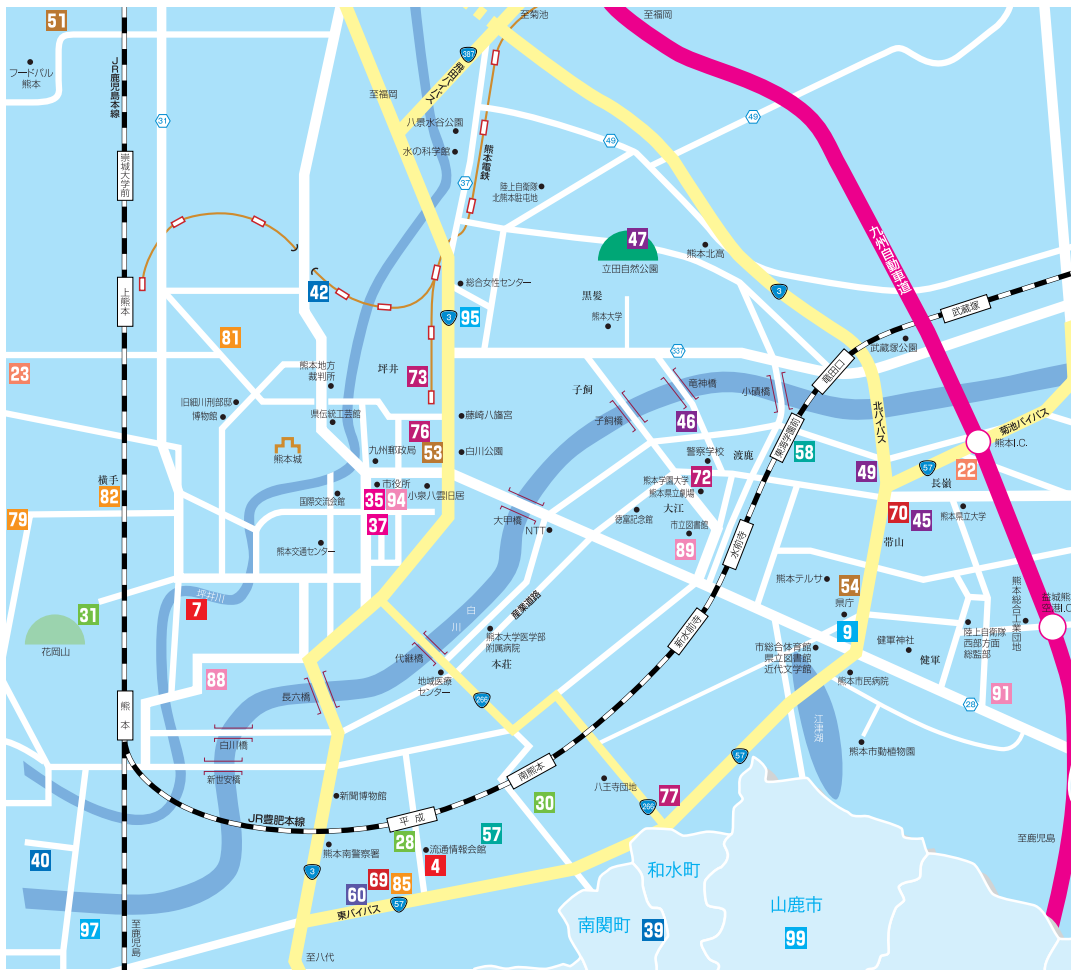
蔦ストーブ1台だけだが、家の隅から隅まで暖かく、施主が切り出したという杉材がふんだんに使われ、木に包まれているという表現がぴったりくる。

外観に関しては、もうひと工夫あっても良かったと思われるが、予算との兼ね合いもあるだろう。

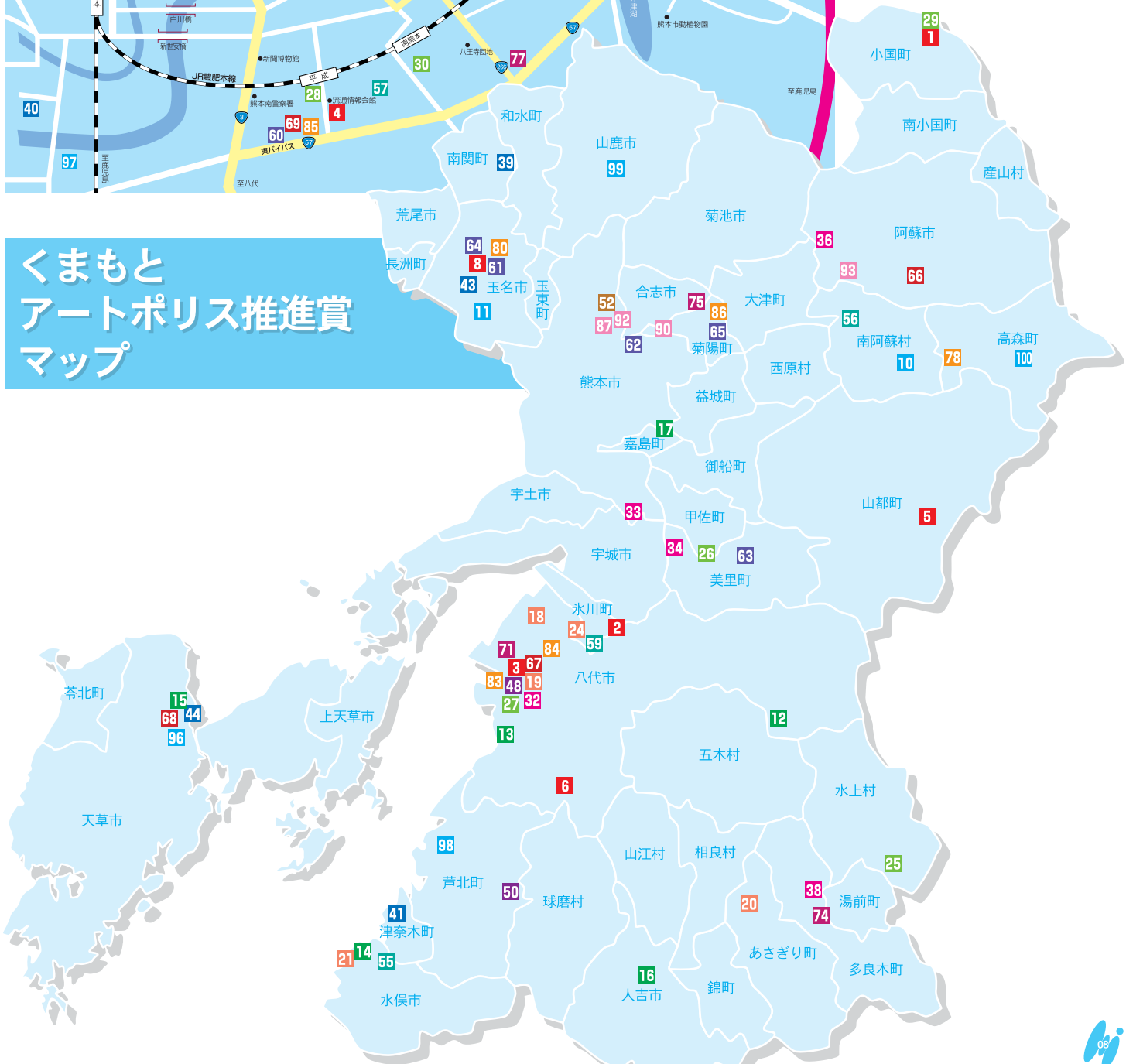
周囲が緑に包まれる初夏に、再び訪れたい気がした。「外からも内からも『家』という感じにしたかった」という設計者の狙いは、見事に結実していると感じた。

(土田 隆)





くまもと アートポリス推進賞 マップ



受賞作品一覧 くまもとアートポリス推進賞(第1回～第15回)

第1回 1995年度

◆:推進賞 ◈:推進賞選賞

- ①:所在地
②:事業者
③:設計者
④:施工者



◆1 小国町立西里小学校

- ①:阿蘇郡小国町
②:小国町
③:木島安史十株式会社計画・環境建築
④:株式会社橋本建設



◆2 東陽村石匠館

- ①:八代市東陽町
②:八代市(旧東陽村)
③:木島安史十株式会社計画・環境建築
④:株式会社盛建設



◆3 八代広域行政事務組合
消防本部庁舎

- ①:八代市
②:八代広域行政事務組合
③:株式会社伊東豊雄建築設計事務所
④:大日本土木株式会社、他



◆4 株式会社野田市兵衛商店
流通団地営業所

- ①:熊本市
②:株式会社野田市兵衛商店
③:株式会社ワークショップ
④:株式会社小竹組



◆5 清和物産館

- ①:上益城郡山都町
②:山都町(旧清和村)
③:株式会社石井和紘建築研究所
④:株式会社日動工務店



◆6 荒瀬ダムボートハウス

- ①:八代市坂本町
②:八代市(旧坂本村)
③:桂英昭十AIR
④:山口建設株式会社、他



◆7 出田眼科病院

- ①:熊本市
②:医療法人出田会 出田眼科病院
③:株式会社NTTファシリティーズ
九州支店一級建築士事務所
④:株式会社鴻池組



◆8 尚玄山荘

- ①:玉名市
②:有限会社有明総業
③:株式会社竹中工務店九州支店
設計部
④:株式会社竹中工務店九州支店



第2回 1996年度



◆9 社会福祉法人慈愛園
ノーマンホーム

- ①:熊本市
②:社会福祉法人慈愛園
③:一級建築士事務所かわつひろし
建築工房
④:安藤建設株式会社九州支店



◆10 阿蘇白水温泉「瑠璃」

- ①:南阿蘇村
②:南阿蘇村(旧白水村)
③:杉本洋文/株式会社計画・環境
建築
④:住友建設株式会社九州支店、他



◆11 ふるさとセンターY・BOX

- ①:玉名市横島町
②:玉名市(旧横島町)
③:設計計画・石丸事務所
④:株式会社多々良、他



第3回 1997年度



◆12 久連子古代の里

- ①:八代市泉町
②:八代市(旧泉村)
③:株式会社龍環境計画
④:有限会社岩崎建設、他



◆13 養護老人ホーム
八代市立保寿寮

- ①:八代市
②:八代市
③:株式会社伊東豊雄建築設計事務所
④:五洋建設株式会社、他



◆14 水俣市営洗切団地

- ①:水俣市
②:水俣市
③:株式会社高木富士川計画事務所
④:若松建設株式会社、他



◆15 丸尾焼工房

- ①:天草市
②:クラフト・ワン株式会社
③:有限会社上田憲二郎建築事務所
④:株式会社吉永産業



◆16 人吉の舎Ⅱ/平井邸

- ①:人吉市
②:平井浩二
③:ばん設計小材事務所
④:株式会社速水工務店



◆17 浮島周辺水辺公園

- ①:上益城郡嘉島町
②:嘉島町
③:九州ランドスケープ
④:吉川建設有限会社、他

第4回
1998年度



◆18 老人保健施設 かがみ苑
①: 八代市鏡町
②: 医療法人社団司会
③: 有限会社野中建築事務所
④: 松尾建設株式会社熊本支店



◆19 熊本県信用保証協会
八代支所
①: 八代市
②: 熊本県信用保証協会
③: 有限会社風設計室
④: 松本建設株式会社



◆20 HOUSE:H-M
①: 球磨郡あさぎり町
②: 橋爪博
③: 設計組織・RAM
④: 有限会社橋爪建設



◆21 水俣市保健センター・水俣市
総合もやい直しセンター
①: 水俣市
②: 水俣市・財団法人水俣市振興公社
③: 株式会社高木富士川計画事務所
④: 沢井・和久田・高木建設工事共同
企業体、他



◆22 古閑邸
①: 熊本市
②: 古閑和季
③: IGA建築計画
④: 有限会社鶴田建設



◆23 聖母の丘
①: 熊本市
②: 社会福祉法人聖母会
③: 株式会社環境開発研究所
④: 株式会社竹中工務店



◆24 宮原町下宮はまどん公園
①: 八代郡永川町
②: 永川町(旧宮原町)
③: 株式会社計画技術研究所九州事
務所、株式会社龍環境計画
④: 有限会社有佐樹花園、他

第5回
1999年度



◆25 水上市立湯山小学校
①: 球磨郡水上村
②: 水上村
③: 株式会社川崎設計事務所
④: 味岡・今村建設工事共同企業体、他



◆26 美里町総合交流ターミナル
「石段の里 佐保の湯」
①: 下益城郡美里町
②: 美里町(旧中央町)
③: 有限会社SDA建築設計事務所
④: 株式会社さとうベネック熊本支店



◆27 植柳新町公民館
(地域学習センター)
①: 八代市
②: 植柳新町内会
③: みかんぐみ
④: 株式会社米本工務店、他



◆28 シルワ・エッセ
①: 熊本市
②: 森上孝雄
③: 有限会社ロクス
④: 株式会社岩永組



◆29 50M一木の森美術館
①: 阿蘇郡小国町
②: 吉村郁夫
③: 桂英昭+AIR
④: 有限会社鳩野建設



◆30 宮崎耳鼻科
①: 熊本市
②: 宮崎代介
③: かわつひろし建築工房
④: 株式会社岩永組



◆31 矢野邸
①: 熊本市
②: 矢野敏之
③: 森繁・建築研究所
④: 株式会社レキセイ

第6回
2000年度



◆32 やつひろハーモニーホール
①: 八代市
②: 八代市
③: 株式会社桜樹会・古川建築事務所
④: 株式会社銭高組九州支店、他



◆33 城南の舎
①: 熊本市
②: 小材健治・小材美佐
③: ばん設計小材事務所
④: 株式会社山口工務店



◆34 美里町福祉保健センター
「湯の香苑」
①: 下益城郡美里町
②: 美里町(旧中央町)
③: 有限会社SDA建築設計事務所
④: 株式会社岩永組、他



◆35 ネクステージビル

- ①: 熊本市
- ②: 株式会社鶴屋百貨店
- ③: 有限会社美創建築デザイン研究所
- ④: 株式会社建吉組、株式会社美創



◆36 熊本YMCA阿蘇キャンプ
メインホール

- ①: 阿蘇市
- ②: 熊本YMCA
- ③: 有限会社風設計室
- ④: 株式会社岩永組



◆37 セカンドサイト

- ①: 熊本市
- ②: 丸紅不動産株式会社
- ③: 株式会社アーキグラム
- ④: 清水建設株式会社九州支店、有限会社サンワ工務店



◆38 霧の斎場

- ①: 球磨郡多良木町
- ②: 有限会社岡部麗香園
- ③: 設計組織・RAM
- ④: 光進建設株式会社

第7回
2001年度



◆39 荏原九州

- ①: 玉名郡南関町
- ②: 株式会社荏原製作所
- ③: 清水建設株式会社一級建築士事務所
- ④: 清水建設株式会社九州支店



◆40 K. Residence

- ①: 熊本市
- ②: 川津貴治
- ③: 森察・建築研究所
- ④: 株式会社岩永組



◆41 つなぎ美術館

- ①: 葦北郡津奈木町
- ②: 津奈木町
- ③: 株式会社NTTファシリティー
- ④: ス九州支店一級建築士事務所株式会社植村組、他



◆42 稗田の舎

- ①: 熊本市
- ②: 津嘉山毅
- ③: ばん設計小材事務所
- ④: 光進建設株式会社



◆43 ガレリアのある舎

- ①: 玉名市
- ②: 大仁田信一
- ③: 有限会社倉田設計
- ④: 有限会社第一新陽建設



◆44 chase

- ①: 天草市
- ②: 山下廣子
- ③: 有限会社現代環境十有有限会社ロクス
- ④: 野上建設株式会社



◆45 キューネット社員寮
「希翔館」

- ①: 熊本市
- ②: 株式会社キューネット
- ③: 株式会社北山創造研究所十株株式会社K計画事務所
- ④: 五洋・酒井建設工事共同企業体

第8回
2002年度



◆46 久野邸

- ①: 熊本市
- ②: 久野啓介
- ③: 久野啓太郎一級建築士事務所ヒマラヤ
- ④: 株式会社岩永組



◆47 立田山野外保育センター
「雑草の森」

- ①: 熊本市
- ②: 社団法人熊本市保育園連盟
- ③: 田崎順ニランドスケーププロジェクト株式会社
- ④: 株式会社雷坂建設



◆48 八代の町屋

- ①: 八代市
- ②: 坂井和子
- ③: ばん設計小材事務所
- ④: 有限会社楠元建設



◆49 いのうえデンタルクリニック

- ①: 熊本市
- ②: 井上公敏
- ③: 西山英夫建築環境研究所
- ④: 株式会社雷坂建設



◆50 大野温泉センター

- ①: 葦北郡芦北町
- ②: 芦北町
- ③: 株式会社日建設計
- ④: サンエー・松下建設工事共同企業体、他

第9回
2003年度



◆51 熊本保健科学大学

- ①: 熊本市
- ②: 学校法人銀杏学園
- ③: 株式会社佐藤総合計画
- ④: りんかい日産建設株式会社



◆ 64 I-HOUSE

- ①: 熊本市
- ②: 井手秀逸
- ③: 横山俊祐十長野聖二・人間建築探検處
- ④: 株式会社三津野建設



◆ 65 熊本市現代美術館

- ①: 熊本市
- ②: 熊本市
- ③: 株式会社梓設計
- ④: 鹿島・戸田・増永・多々良・勝本建設工事共同企業体



◆ 66 UEDA. Residence

- ①: 熊本市
- ②: 上田幸一、上田秀一
- ③: 有限会社森繁・建築研究所
- ④: 株式会社山口工務店

第10回
2004年度



◆ 69 九州新幹線 新水俣駅

- ①: 水俣市
- ②: 鉄道・運輸機構九州新幹線建設局
- ③: 株式会社西部交通建築事務所十渡辺誠/アーキテクトオフィス
- ④: 奥村・白石・光進特定建設工事共同企業体



◆ 67 S. W. H

- ①: 阿蘇郡南阿蘇村
- ②: 下村初幸
- ③: 有限会社ロクス
- ④: 株式会社橋本建設十有限会社サンユー電気設備



◆ 67 田迎の家

- ①: 熊本市
- ②: 三原 紀
- ③: 有限会社U L 設計室
- ④: 中村建築工房



◆ 68 東海大学付属第二高等学校

- ①: 熊本市
- ②: 学校法人東海大学
- ③: 大成建設株式会社
- ④: 株式会社豊工務店



◆ 69 ひだまりのまち B⁴

- ①: 八代郡永川町
- ②: 宮原町 B 街区優良建築物等整備事業組合
- ③: 有限会社 F U 設計
- ④: 株式会社多々良

第11回
2005年度



◆ 69 K-house in 近見

- ①: 熊本市
- ②: 古閑靖浩
- ③: 西山英夫建築環境研究所
- ④: 株式会社東陵建設



◆ 69 高瀬蔵

- ①: 玉名市
- ②: 玉名商工会議所
- ③: 株式会社連合設計社市谷建築事務所
- ④: 植野建設株式会社



◆ 63 Towers

- ①: 合志市
- ②: 上田敏雄、上田民子
- ③: 菊池建築工房
- ④: 有限会社高木ハウジング



◆ 69 美里町立中央小学校体育館

- ①: 下益城郡美里町
- ②: 美里町
- ③: 有限会社SDA建築設計事務所
- ④: 株式会社高橋建設



◆ 69 玉名温泉つかさの湯

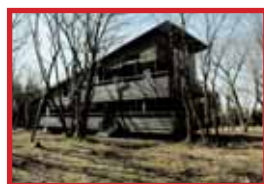
- ①: 玉名市
- ②: 司観光開発株式会社
- ③: 清水建設株式会社九州支店、株式会社フィールドフォー・デザインオフィス
- ④: 清水建設株式会社九州支店



◆ 69 堀田眼科医院

- ①: 菊池郡菊陽町
- ②: 堀田明弘
- ③: グローバル アーキテクトチーム ガット
- ④: 清水建設株式会社九州支店

第12回
2006年度



◆ 69 阿蘇の舎

- ①: 阿蘇市
- ②: 松浦朝海
- ③: ばん設計小材事務所
- ④: 株式会社山口工務店



◆ 67 Nina Dental Clinio

- ①: 八代市
- ②: 川村順子
- ③: 高安重一・佐佐公一/有限会社アーキテクチャー・ラボ
- ④: 株式会社日動工務店



◆ 69 西の久保公園

- ①: 天草市
- ②: 天草市
- ③: 株式会社大揮環境計画事務所
- ④: 有限会社天祐建設工業所他



◆ 66 “B”-studio

- ①: 熊本市
- ②: 戸次和弘
- ③: 一級建築士事務所ヒマラヤ
- ④: 株式会社九州建設



◆ 70 永田歯科

- ①: 熊本市
- ②: 医療法人永田歯科クリニック
- ③: アクティブ デザイン
- ④: 株式会社日動工務店

第13回
2007年度



◆ 71 H-court

- ①: 八代市
- ②: 林田聖二
- ③: 岩瀬隆広建築設計
- ④: 株式会社米本工務店



◆ 72 熊本学園大学14号館
(60周年記念会館)

- ①: 熊本市
- ②: 学校法人熊本学園
- ③: 野中建築事務所
- ④: 熊谷・小竹・酒井建設工事共同企業体



◆ 73 城下町の住宅

- ①: 熊本市
- ②: 下田誠也
- ③: 塩塚隆生アトリエ
- ④: 株式会社建吉組



◆ 74 多良木町交流館石倉

- ①: 球磨郡多良木町
- ②: 多良木町
- ③: かちあデザイン一級建築士事務所
- ④: 肥後環境株式会社、他



◆ 75 グリーン、ツイードアンドカンビナー
アジアエンジニアリングセンター

- ①: 合志市
- ②: グリーン、ツイードアンドカンビナー
ジャパン株式会社
- ③: 萩野アトリエ
- ④: 株式会社建吉組



◆ 76 AI mall

- ①: 熊本市
- ②: 萩原秀道
- ③: アクティブデザイン
- ④: 酒井建設工業株式会社



◆ 77 コンパスポイント本社ビル

- ①: 熊本市
- ②: 有限会社コンパスポイント
- ③: 株式会社agアーキテツ
- ④: 株式会社建吉組

第14回
2008年度



◆ 78 障害者多機能型施設
高森寮

- ①: 阿蘇郡高森町
- ②: 社会福祉法人立正福祉会
- ③: 有限会社中川建築設計事務所
- ④: 株式会社橋本建設



◆ 79 B-house in 島崎

- ①: 熊本市
- ②: クリストファー ブッシュ
大村美和
- ③: 西山英夫建築環境研究所
- ④: 株式会社富坂建設



◆ 80 ジャングルグムの家

- ①: 玉名市
- ②: 後藤真一郎、後藤祥子
- ③: 村田建築設計所
- ④: 有限会社村田工務店



◆ 81 Chro-e#01 (クロイー#01)

- ①: 熊本市
- ②: 町頭憲太郎
- ③: ラッツ・アーキテツ株式会社
- ④: 株式会社夢工房 和樂



◆ 82 ガーデンコートゆうかり

- ①: 熊本市
- ②: 株式会社熊本マタニティーサービス
- ③: ばん設計小材事務所
- ④: 株式会社松島建設



◆ 83 松木運輸株式会社

- ①: 八代市
- ②: 松木運輸株式会社
- ③: 上村設計工房
- ④: 直営



◆ 84 しらさぎおぎや

- ①: 八代市
- ②: 株式会社シラサギ
- ③: 有限会社倉田設計
- ④: 五徳創建株式会社、村上造園



◆ 85 済生会熊本病院
外来がん治療センター

- ①: 熊本市
- ②: 社会福祉法人恩賜財団
済生会熊本病院
- ③: 株式会社東畑建築事務所
- ④: あおみ建設株式会社



◆ 86 barn renovation

- ①: 菊池郡菊陽町
- ②: 赤峰洋次
- ③: 坂本達哉建築設計事務所
- ④: 有限会社ウエダホーム

第15回
2009年度



◆87 畑の中の一軒家
①: 熊本市
②: 山中智広
③: すまい塾古川設計室有限会社
④: 楠元建設有限会社



◆88 川上酒店
①: 熊本市
②: 株式会社川上酒店
③: 長野聖二・人間建築探検處
④: イマムラ店舗工業



◆89 i-CUBE #01
(アイキューブ #01)
①: 熊本市
②: 株式会社夢工房 和樂
③: ラッツ・アーキテツ株式会社
④: 株式会社夢工房 和樂



◆90 光の森の住宅
①: 菊池郡菊陽町
②: 吉森信太郎
③: 株式会社松山建築設計室
④: 株式会社山口工務店



◆91 桜木の家
①: 熊本市
②: 村上博
③: 有限会社倉田設計
④: 株式会社夢工房 和樂+村上造園



◆92 R-house in 梶尾
①: 熊本市
②: J・リグビー
③: 西山英夫建築環境研究所
④: 株式会社富坂建設



◆93 YMCA赤水保育園
①: 阿蘇市
②: 社会福祉法人熊本YMCA福祉会
③: 有限会社風設計室
④: 株式会社東稜建設



◆94 熊本市下通
2・3・4番街アーケード
①: 熊本市
②: 熊本市下通2・3・4番街
商店街振興組合
③: 上窪哲也建築計画事務所
④: 武末・さとう建設工事共同企業体

第16回くまもとアートポリス推進賞

募集要項

趣旨

熊本県は、環境デザインに対する関心を高め、都市環境並びに建築文化等の向上を図るとともに、世界への文化情報発信地「熊本」を目指し、後世に残り得る文化的資産を創造するため、「くまもとアートポリス」を推進しています。

この事業の目的を達成するため、コミッショナーから国の内外より推薦を受けた設計者を参加事業主に紹介するプロジェクト事業や各種のイベント、広報事業等を行い、さらに幅広く県民の皆様の御理解を深めていただくため、平成7年から「くまもとアートポリス推進賞」の表彰を行っています。

この賞は、質の高い優れた建造物等を顕彰することにより、県民の環境デザインに対する意識の高揚と都市環境並びに建築文化等の向上を目指し、併せて豊かな地域づくりを図ることを目的としています。

表彰対象

概ね5年以内に竣工(改造、改修、修復を含む)した熊本県内の建築物、橋、公園、記念碑等の建造物及びそれらで構成された一群の施設等(くまもとアートポリス参加プロジェクト及び県の施設を除く)とします。

選考基準

本賞の選考は、建造物等の企画、設計、施工及び施設の利用について、次に示す評価のポイントをもとに総合的に評価します。

評価のポイント

- ① デザインが優れているもの
- ② 新しい技術的提案や工法の改善が行われているもの
- ③ 良好な施工が行われているもの
- ④ ひとや環境に優れた配慮がなされているもの
- ⑤ 施設の活用に創意工夫がみられるもの
- ⑥ 維持・管理が良好なもの
- ⑦ 地域づくりに寄与しているもの
- ⑧ 長いスパンのライフサイクルに配慮されているもの

賞

賞は「くまもとアートポリス推進賞」、「くまもとアートポリス推進賞選賞」とします。

事業主(必要に応じて管理者を含む)、設計者及び施工者に知事が表彰状を贈ります。

応募資格

自薦、他薦を問わず、どなたでも応募できます。

選考委員(50音順)

青木 淳(神戸芸術工科大学客員教授、青木淳建築計画事務所代表)

大野 郁子(イラストレーター、JAGDA会員)

北野 隆(熊本大学名誉教授)

高橋 晶子(武蔵野美術大学教授、ワークステーション共同主宰)

塚本 由晴(東京工業大学大学院准教授、アトリエ・ワン)

土田 隆(熊本日日新聞社文化部次長)

西嶋 公一(オフィス・ムジカ代表、熊本県文化懇話会常任世話人・熊本県文化協会常務理事)

選考経過

募集 平成22年 7月12日(月)～ 9月 6日(月) 応募件数51件

書類選考 平成22年10月20日(水)

現地審査 平成23年 1月12日(水)～13日(木) 現地審査件数10件

最終選考 平成23年 1月13日(木) 推進賞2件、推進賞選賞4件
(選考委員1名欠席)

表彰式 平成23年 3月22日(火) 県庁本館5F知事応接室

熊本県

土木部建築課

〒862-8570

熊本市水前寺6丁目18番1号

TEL.096(333)2537

FAX.096(384)9820

<http://www.pref.kumamoto.jp/site/artpolis/>



くまもとアートポリスのマーク

シンボルマークは3つの楕円と1つの小さな丸で構成されています。

3つの楕円は、左から順に「地域/世界」「くまもとアートポリス/熊本」「ひと/地域」が、互いにつながっていることをあらわします。楕円の傾きは地球の地軸の傾き(太陽を中心とする公転軌道に対する地球の軸/南北軸の傾き)と同じ23.5度です。

シンボルマークは、くまもとアートポリスの目標「地球と対話、地球とネットワーク」に対応しています。くまもとアートポリスは、地域に生活する人々と対話しながら様々な建造物や環境を創造します。同時にこのような活動は、常に地球規模のネットワークとも繋がり、世界的な環境への配慮や地域文化的な広がりをもっていることを示しています。